

2014 冬の教育普及プログラム 屋外アトリエワークショップ
 「小さな森の植物学教室～自分だけの植物図鑑をつくろう～」の様子



春に好評だったこのプログラム。今度は冬の植物の様子も観察してみようということで、対象の枠を広げて実施しました。春につづき、今回も小雨が降ったり止んだりする中、造園家で樹木医でもある清右衛門さんとともに、美術館の周りに生息する小さな植物たちをじっくり観察しました。丸くて葉っぱの裏がふさふさとして、まるでネズミやウサギの耳に似ていることから名前がつけられた「オランダミミナ草」。手でこするとキュウリの匂いのする、その名も「キュウリ草」。名前の由来を聞くと、どれも納得のいく植物たち。説明を聞きつつ、様々な植物を採取した後は、このプログラムの醍醐味である自分だけの植物図鑑づくり。生の葉っぱをそのまま貼り付けたり、スケッチしたり、自分の好きなキャラクターもこっそり描いてみたり。最後には、箱になるケースに、この時期ならではの植物の薫りとともに大切に納めました。講師の清右衛門さんの「植物から影響を受けているアート作品って多いと思います」という言葉のとおり、形や色、匂い、由来など、美術館の周りの植物を通して色々なことを楽しんで持ち帰っていただけたのではないかと思います。 (美術館 H.F.)

- 実施日 平成 27 年 3 月 7 日 (金) ①10:30～12:30 ②14:00～16:00
- 講師 清右衛門 (造園家、樹木医)
- 対象 小学生以上
- 参加者 ①15 名 (+付添 4 名)、②17 名 (+付添 5 名)



1 雨の中の植物観察スタート



2 ブローチになったよ!



3 オランダミミナ草



4 ○なっしーも登場図鑑



5 植物貼り図鑑



6 いっぱい集めたよ図鑑

● 講師プロフィール

清右衛門 [せいえもん] (造園家・樹木医)

千葉大学園芸学部卒。森林生態学を専攻し、山中をうろつきながら森の研究に明け暮れる。現在は自然を生かした庭園や公園作りを手がけるかたわら、シェアアトリエハウス『北鎌倉たからの庭』を拠点に、自然の楽しさを伝えるワークショップ「みちくさ部」を開催。